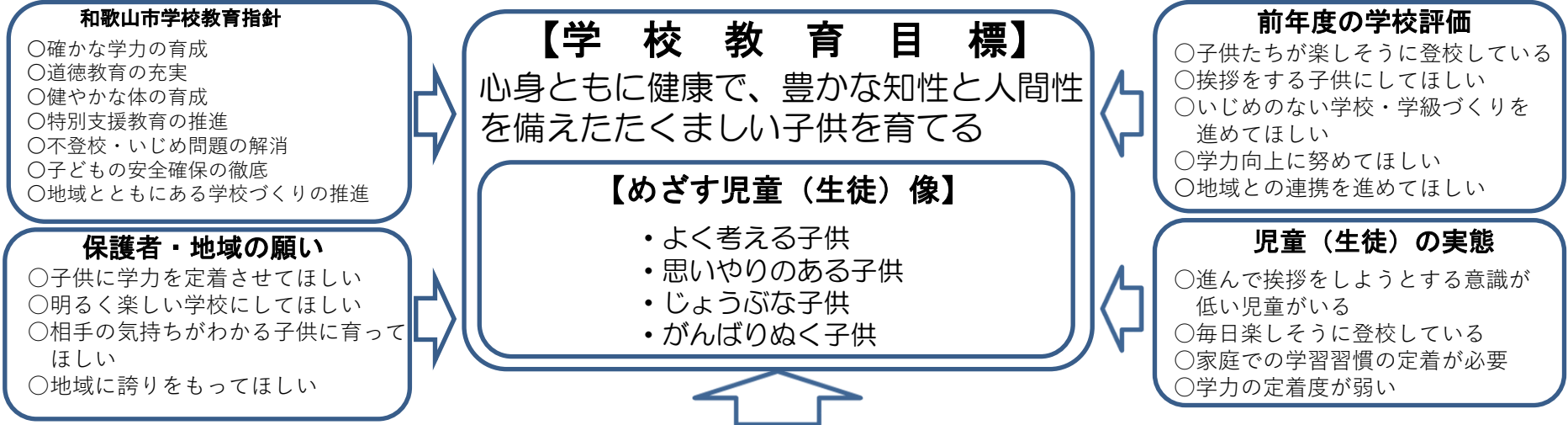




重点目標	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校	◎：特に重点的に取り組むこと
	◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進	◎仲間づくりの実施 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○道徳・人権教育の充実	◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成	◎家庭・地域との連携充実 ◎中学校区における学校間連携の推進 ○地域の資源活用の推進	
具体的な取組	○チャレンジタイム（昼の帯学習）、放課後補充学習による学力の向上を目指す ○ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりを推進していく ○理科学習の研究を軸に、子供が主体の授業づくりを推進する ○自主学習ノートの活用を推進し、保護者と協力しながら自ら学ぶ習慣を身に付けさせる ○朝読書、読み聞かせ活動により、読書習慣の定着を図る	○学級活動等で、互いに協力しあう機会を設ける ○インクルーシブ教育を推進する ○いじめアンケートを毎学期実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学年の特性にあわせ計画的に学習を進めていく ○道徳教育を推進していく	○なわとび記録会を開催し、なわとび運動の充実により、体力の向上を図る ○秋の運動会を開催し、体力の向上に役立てる ○保護者の協力を得ながら、「早寝、早起き、朝ごはん」活動に取り組む ○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する	○各種便り（学校だより、学年だより、学級だよりなど）やHP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する ○中学校区での小中、小中の連携を推進・充実する ○授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティアクラブ、講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する	
指標	・県学習到達度調査の正答率が県平均に並ぶ（差が5%以内） ・勉強がわかると感じる(児童90%) ・研究発表会（理科）を開催する	・学校が楽しいと感じる（児童90%） ・友達と仲良くしている（児童90%） ・命の大切さ・社会のきまりを教えてもらっている（児童90%） ・不登校児童数 0人	・「早寝早起き朝ごはん」活動に取り組む ・避難訓練の実施（4回以上） ・なわとび記録会を開催する	・学校の様子がよく伝わったと感じる（保護者90%） ・校区こども園との交流会（2回以上） ・中学校との交流会の実施（1回以上）	